

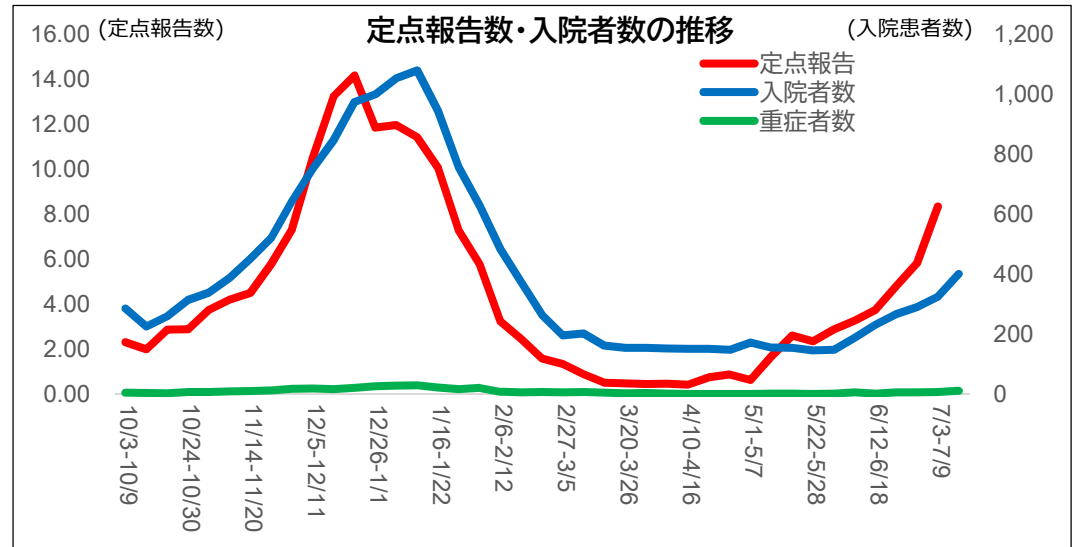
新型コロナウイルス感染症の状況

感染状況

- 直近(7/3~7/9)の定点報告数は8.36と増加傾向が継続
- 入院患者数、重症者数についても、485人(うち重症22人)[7/18時点]と徐々に増加

今後の見通し

- 第8波との比較では、入院患者数の増加は緩やかで、直ちに医療がひっ迫する状況にはない
- 昨年度は8月に感染者が増加したことから、夏の感染拡大には注意が必要
- 今後、感染の増加傾向がさらに継続する場合は、感染流行期へのフェーズ変更も検討



第8波との比較

フェーズ	感染小康期(平時)	感染流行期
外来	「発熱等外来医療機関」による通常の診療体制等	県内医療機関に対する協力要請の強化
入院	800床程度	1,300床程度

第8波(R4.11/28~12/4)		直近の状況(R5.7/3~7/9)	
定点報告数	入院患者数(12/4)	定点報告数	入院患者数(7/18)
7.34	677(20)	8.36	485(22)

※第8波の定点報告数はHER-SYSデータに基づく参考値、入院患者数の括弧書きは重症者数

県民の皆さまへのお願い

まもなく夏休みを迎えますが、感染が拡大傾向にあります。感染対策は県民の皆さまの自主的な取組が基本となりましたが、日常生活と感染予防の両立へのご協力をよろしくお願いします。

- 帰省やお祭り、レジャー等の際には、場面に応じて、3密(密接、密集、密閉)の回避、手洗いや手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用を行うとともに、体調に異変を感じたら食事会や飲み会への参加を控えるようお願いします。
- 医療機関や薬局、高齢者施設等への受診・訪問時には、基礎疾患をお持ちの方や高齢者の方を守るために、マスクの着用をお願いします。
- 重症化リスクの高い方や発熱・のどの痛みなどの症状が強く、医療機関の受診を希望される場合は、必ず事前に連絡、相談を行った上で、受診をしていただくようお願いします。
- 救急医療を守るため、検査目的での救急受診は控え、抗原検査キットを準備しセルフチェックを行う、まずかかりつけ医や県の健康相談窓口にご相談の上、救急がひっ迫する夜間の受診をできるだけ控えるなどのご協力をお願いします。

新型コロナウイルスの感染が再拡大しています。

～県民の皆様へお知らせとお願い～



現在、新型コロナウイルスの感染が拡大傾向にあります。感染拡大や医療ひっ迫を防ぐため、適切な受診と感染対策にご協力をお願いします。

日常における感染対策について

(1) 基本的な感染対策の継続をお願いします

感染の予防には、3密（密接、密集、密閉）の回避、手洗いや手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用などが有効です。

(2) 発熱などの体調不良時に備えておきましょう

国が承認した新型コロナ抗原定性キットや常備薬、備蓄の食料・飲料等を準備しておきましょう。

(3) 医療機関、薬局、高齢者施設等に行くときは感染対策を行いましょう

医療機関への受診時や面会などの訪問時には、基礎疾患をお持ちの方や高齢者の方を守るために、マスクを着用しましょう。

体調に異変を感じたら

(1) 自宅等で療養を行い、食事会や飲み会への参加を控えましょう

発熱や喉の痛み、いつもと違う咳が出るなど体調に異変を感じたらキットでセルフチェックをしましょう。

陽性の場合、発症後5日間は、外出を控えることを推奨しています。やむを得ず外出する場合は、マスク着用等の感染対策をお願いします。

(2) 受診を希望される方は事前に相談・連絡をしましょう

まずは地域の医療機関（かかりつけ医等）に電話でご相談ください。かかりつけ医のない方は、兵庫県ホームページに公表している医療機関リストをご活用ください。

医療機関リスト



(3) 救急医療を守るためのお願い

検査目的での救急受診は控え、抗原検査キットを準備しセルフチェックを行う、まずかかりつけ医や県の健康相談窓口にご相談の上、救急がひっ迫する夜間の受診をできるだけ控えるなどのご協力をお願いします。

受診や療養中の体調急変時の相談窓口

新型コロナウイルス感染症健康総合相談窓口（24時間）

電話：078-362-9980 fax：078-362-9874

新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口

